

かわ

Vol.227 2015.10.1

Contents

- わがまちのかわP1~P3
◎第27回 豊前市
- 通常総会..... P4
- 河川功労者表彰..... P5
- 第11回ふくおか川の大掃除..... P6
- ふくおか水もり自慢! P7~P8
- ふくおかの身近な川と魚を知ろう32... P9~P10
- 水辺の花図鑑/協会からのお知らせ

郷土ふるさと 福岡の河川を知る

わがまちの かわ

第27回

豊前市 (ぶぜんし)

BUZEN CITY



岩岳川

位置と町の概要

海と山に囲まれた、修験道文化が息づく歴史のまち

豊前市は、福岡県の東南端に位置し、南には修験道の遺跡で知られる求菩提山、天然記念物「ツクシヤクナゲ」の群生する犬ヶ岳をひかえ、ここに源を発する岩岳川を中心に豊前平野が扇状に広がっており、北は静かな周防灘に面しています。

明治22年4月市町村制施行により、築城郡角田村、上毛郡内に八屋町ほか8町村が設置されました。そして明治29年には、築城、上毛両郡が合併し築上郡となり、昭和30年4月には、八屋町(宇島町は昭和10年に八屋町と合併)、角田村、山田村、三毛門村、黒土村、千束村、横武村、合河村、岩屋村の9町村が合併して今日の豊前市の形が作られました。発足当初の市の名称は宇島市でしたが、同年4月14日には豊前市と名称変更し今日に至っています。

主要交通網としては、国道10号線及びJR日豊本線によって構成される東九州ルートが通り、北九州市とは北西45km、大分県中津市とは南東7kmの位置関係にあり、京築地域南部の中心都市として位置しています。また、平成28年春には、東九州自動車道が全線開通する予定となっています。経済的には北九州市と、市民生活や文化面では中津市と深い関係にあります。

気候は、瀬戸内海型気候区に属していますがその最も西端に位置するために、日本海型気候との中間的な性格もっています。年平均気温は15~16℃、冬季でも5℃程度で日本海型気候と同じですが、年間降水量は1,600mm程度で最も少ない地域に属しています。



福岡県

豊前市

いわたけがわ 岩岳川

岩岳川は耶馬日田英彦山国定公園にある犬ヶ岳を源流とし、大きな岩が多い上流の山間部を抜け、中流部で放水路により佐井川に放水しています。そこから、下流は川幅が狭くなり、田園地域から豊前市の都市部を流下して周防灘に達する河川です。

岩岳川では、「岩岳川川づくり懇談会」で整備箇所を選び、各整備箇所では人と川が触れ合える昔ながらの自然豊かな川づくりを目指しています。その中の一つである関庵淵(せきあんぶち)では、かつて子どもたちの遊び場だった大きな淵の復元を中心として、護岸を穏やかにして水辺に近づきやすくし、玉石を使い生物

が生きやすいように配慮しています。また農村公園が近くにあり、人が川と触れ合えるようになっています。同様に岩屋地区では、川沿いの活性化センターやふれあい農園のそばで、周辺の豊かな自然に溶け込み、人と自然が触れ合える川づくりを行っています。川本来の姿を再現するため、川の流れを推測して、流れに逆らわない計画をしたり、現地発生の玉石のみを使った石組みの伝統工法により工事を行ったりと工夫をしています。一見だけではどこを工事したのかわからないほどですが、年月がたてばさらに自然の川に近づいていきます。この自然豊かな岩岳川は、毎年夏になると涼を求めてたくさんの人で賑わいます。



くぼてきん 求菩提山

求菩提山は遠くから見ると「おわん」を伏せたような形をした伝説の山で、その独特な山容は山麓から眺めると心に迫り印象的なものです。九州では英彦山と並ぶ山岳信仰の中心地であり、「天狗の山」「修験道の山」として全国的に注目され、国の史跡にも指定されています。



水源の森~犬ヶ岳~

全ての生命の源である水を育む森。犬ヶ岳にはブナ林を中心に貴重な自然林が残され、豊前の豊かな自然のシンボルでもあります。ミネラルを豊富に含む水は周防灘へと注ぎ、豊前海の幸をも育んでいます。

豊築漁協さかな祭(10月中旬)

豊前海の魚をもっと食べてもらおう!と漁協朝市が発展したのが、さかな祭です。祭では豊前海で獲れた豊前本ガニ・ハモ等の新鮮な海の幸のつかみ取り等イベントを行っており、毎年多くのお客さんと賑わいます。





てんちざん
天地山公園

日本の都市公園百選にも選ばれた美しい公園で面積は約20万㎡にもなります。花と緑にあふれた園内には遊歩道・展望広場・冒険広場・多目的広場・もみじ谷・花公園などがあり、安らげる空間として人気が高い公園になっています。



道の駅～豊前おこしかけ～

国道10号線沿線で初の「道の駅」として2000年に開業して以来、多くのドライバーの方に愛されています。気軽に立ち寄れるステーションをコンセプトに豊前神楽の定期公演などイベントも充実した人気のスポットです。年間の来場者数は約

1,300,000人で、年間の売り上げは約5億円余という九州でもトップクラスの実績を誇ります。店内では地元の野菜や果物、加工品を中心に人気の商品が所狭しに並べられています。特に地元の特産品である「ゆず」を使った様々な商品は、ここ道の駅がプロデュースしたもので生産、加工、流通をトータルで手がけた優れたものです。



うのしま豊築丸

豊築漁業協同組合が運営する漁師食堂です。テレビやブログ等で紹介された同食堂は、漁師が捕った魚介のみを使い旬の魚料理を提供しています。11月頃からは豊前海の冬の幸である「豊前本ガニ」を贅沢に使用し、濃厚なうまみと豊かな甘みを堪能

能できる定食など、その季節に獲れる新鮮な魚介類が出されます。もう一つの豊前海の代表的な冬の幸である「豊前海一粒かき」が獲れる頃は、「かき焼き小屋」へと変わり、多くのお客さんで賑わいます。また、隣接した直売所では、その日に水揚げされた新鮮な魚介類を販売しています。豊築丸で食事をして直売所で魚を買って帰るお客さんも増えています。



平成27年度

福岡県河川協会通常総会

福岡県河川協会通常総会は、平成27年7月27日(月)午後3時から福岡市博多区吉塚本町の博多サンヒルズホテルにおいて、来賓、役員会員、参与等約70名の出席のもと盛大に開催された。

福岡県、福岡県議会から来賓としてご臨席いただき、会長のあいさつ、来賓のあいさつの後、香原会長を議長に選出、平成26年度会務及び事業報告並びに決算の報告、平成27年度事業計画及び予算案、役員を選任等が審議され、いずれも原案どおり議決承認された。

次に要望決議案が上程審議され、満場一致で採択、後日関係機関及び地元選出国會議員に要望することとなった。

この後、河川功労者の表彰を行った。会長から感謝状及び記念品が授与された。最後に県の河川関係事業及び河川総合開発事業の概要について河川課長及び河川開発課長から説明がなされた。



要望決議



赤間嘉麻市長による要望決議案の朗読

福岡県における河川改修やダム建設の取り組みは、これまでも河川法の精神である治水・利水・環境、それぞれの目的に沿って鋭意推進していただいているところであるが、未だ満足すべき状況には到っていない。

また、最近では局地的大雨の発生頻度の高まりや濁水頻度の増加に対して安全で安心できる県土づくりが求められている。さらに、ストレスの多い社会生活の中で河川に安らぎを求める人々が多いことや生物多様性の保全を進めるうえで河川環境の保全・再生が求められており、快適で潤いのある循環型の県土づくりが求められている。

ここに、福岡県河川協会は、平成27年度通常総会の総意に基づき、次の事項の実現を強く要望する。

1. 治水対策の根幹である河川改修やダム整備を計画的に推進すること。
1. 河川等の整備を推進するとともに、河川防災情報基盤の整備などによる情報伝達の充実や危険箇所・浸水想定区域の視覚化などのソフト対策の充実強化を図り、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策を強力に推進すること。
1. 日頃の維持管理水準を高め、災害を未然に防止し、快適な河川環境を維持すること。また、大規模地震に備え、河川堤防等の耐震対策を着実に推進すること。
1. 高度成長時代に集中投資した河川管理施設の老朽化の進行が見込まれることから、適切な老朽化対策を講ずること。
1. 災害が発生した場合には、迅速な対応を実施するとともに、集中的かつ機能的な災害復旧事業及び改良復旧事業を積極的に推進すること。
1. 安定的な水の供給を図るため、水資源開発を推進すること。
1. 地方自治体財政の現況に鑑み、河川事業に要する地方財源措置について、特段の配慮を講ずること。

以上決議する

平成27年7月27日 福岡県河川協会通常総会

河川功労者表彰

河川の維持管理に多大な貢献をされた皆様に対して、7月27日の河川協会通常総会の席上で表彰を行いました。

河川功労者とは、河川の機能保全、改善のために力を尽くし、その功績が顕著な個人並びに団体を各市町村からの推薦によって決定しています。

平成27年度の河川協会会長表彰は1団体4個人で次のとおりです



河川協会 会長表彰

- | | |
|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| ■ <small>はしぐち</small> 橋口 <small>ふくじ</small> 福次 様 (久留米市) | ■ <small>やました</small> 山下 <small>ゆうじ</small> 祐司 様 (大牟田市) |
| ■ <small>おおつか</small> 大塚 <small>しげかつ</small> 茂勝 様 (宗像市) | ■ <small>なかも</small> 中山 <small>たけぞう</small> 武三 様 (朝倉市) |
| ■ <small>やまでらかわ</small> 山寺川をきれいにする会 <small>かい</small> 様 (北九州市) | |



受賞者のみなさんと、よみガエルくん

表彰式の様子



橋口 福次 様



山寺川をきれいにする会



大塚 茂勝 様

おめでとうございます!!

第11回 ふくおか川の大掃除を実施します。

県民参加による河川美化活動

河川環境に対する県民の関心が高まる中、流域が一体となった県民参加による川づくりや河川愛護活動の一層の活性化が求められています。

このため、福岡県では、平成17年度から「川のネットワーク推進事業」として、年に一度の一斉清掃や、活動報告会・活動冊子等を通じて団体間の情報交換や交流を進めることにより、河川愛護団体(ボランティア団体)等の相互の連携強化や活性化を図っています。

毎年10月をクリーンリバー推進期間、第4日曜日を統一活動日

平成27年10月25日(日曜日)

とし、県内で河川の一斉清掃を呼びかけ、第11回ふくおか川の大掃除を実施します。昨年(第10回)は、152団体、14企業、約28,000名の方々にご参加いただきました。各県土整備事務所においても清掃活動を実施します。参加を希望される方は、管轄の県土整備事務所(用地課)までお問い合わせください。



ふくおか水もり自慢!

「第12回 ふくおか水もり自慢! in筑豊」開催のご案内

近年、森や山林の保全活動、河川愛護活動、海岸の保全活動および地域づくりなどを行う様々な団体が、豊かな福岡県の自然を守り伝えていくために活動しています。各々の活動や事業は、地域に根ざした個性的な内容のものもあり、形態も多様化しています。

「ふくおか水もり自慢!」は、福岡県内の「水」「もり(森)」など水環境の保全に関わる活動をしている団体(市民団体、NPO、学校、国、地方自治体)が一堂に会し交流することによって、団体間の交流や行政と市民団体のパートナーシップを促進するとともに、他の団体の活動状況や手法を学び、今後の活動の糧とし、お互いの活動を称えあい、福岡県にある豊かな自然と人間が共存していくために必要な考え方や取り組みを一緒に考えていくイベントです。

平成16年度から開催し、昨年度までで11回開催しています。開催地は、福岡県内を4ブロック(福岡、北九州、筑後、筑豊)に分け、巡回しています。毎回、スライドによる発表や寸劇などにより、各々の活動内容を楽しく、まじめに、わかりやすく報告しています。

今年度につきましては、平成27年12月6日(日)に直方市の遠賀川水辺館で開催されることになっております。発表団体の募集につきましては、10月上旬を予定しております。詳細な内容が決まり次第、福岡県河川課のホームページ等で募集のお知らせをいたします。多数のご参加をお待ちしています。

(※福岡県河川課ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/soshiki/4800602/>)



効果イメージ



- ・各々で活動は行っているが、連携が小さく活動も地域により温度差がある。
- ・情報が共有されていないため、流域内の違う団体同士と一緒に活動できない。

- ・各流域内外での連携が強まり、小さな団体も含めて活動も活発になる。
- ・情報を収集し共有することにより、流域が一体となった活動を目指す。



ふくおか水もり自慢! の開催状況

	年度	実施地区
第1回	H16年度	福岡大会
第2回	H17年度	北九州大会
第3回	H18年度	筑後大会
第4回	H19年度	筑豊大会
第5回	H20年度	福岡大会
第6回	H21年度	北九州大会
第7回	H22年度	筑後大会
第8回	H23年度	筑豊大会
第9回	H24年度	京築大会
第10回	H25年度	筑後大会
第11回	H26年度	北九州大会
第12回	H27年度	筑豊大会

ふくおかの身近な川と さかなを知ろう

No.32 福岡県の絶滅危惧種—田んぼのまわりの魚たち

ここ3回ほど、2014年版福岡県レッドデータブックに掲載された魚たちを紹介してきました。そして、今回がその企画の最後となります。今日は、「田んぼのまわりの魚たち」です。正確には、田んぼの周りの農業用水路や細流です。また、そのような場所を好む魚たちは、河川では水際に形成されるワンド、たまりや二次流路などに生息します。これらは緩流域・止水域を好む魚です。絶滅危惧ⅠA類としては、ヒナモロコ、カワバタモロコ、セボシタピラ、ハカタスジシマドジョウが、同ⅠB類としてはニッポンバラタナゴ、カゼトゲタナゴ、アリアケスジシマドジョウ、オングスジシマドジョウが、同ⅠⅡ類としてはヤリタナゴとドジョウが、準絶滅危惧種としてはカネヒラ、アブラボテ、マナムツ、ツチフキ、ミナメダカが掲載されています。

さて、これらの魚が今、福岡県内で最も見られる場所をご存知でしょうか？柳川市、大川市、久留米市、大木町、筑後市などの周辺に広大な水田地帯が広がり、そこに水路網が張り巡らされており、そこでこれらの絶滅危惧種たちの多くを見ることができます。これらの水路は、掘割あるいはクリークと呼ばれていて、場所によってはクリークの水面面積が水田面積の10%を超えるほど、...。広域に水を送るための流れ掘とそこから各々の水田に水を分配する枝掘があって、前者は流れが速く、後者は流れがほとんどないため、流れを好む魚と止水を好む魚が共存しており、結果として高い魚類の多様性を見ることができるのです。ヒナモロコやカワバタモロコは河川にはほとんど生息できず、農業用水路を専門にしていますし、タナゴ類なども主



要な生息場は農業用水路ですので、この地の掘割網はそれらにとって重要な生息場となっています。

さて、婚姻色を伴うニッポンバラタナゴ、セボシタピラ、カゼトゲタナゴ、カワバタモロコの写真をご覧ください。この雄たちの美しい姿！これらの魚たちは、産卵期に雌と恋に落ちるため、このような美しい輝きを放ちます。特に、カワバタモロコ、...。産卵期の初夏から晩夏にのみ、写真のような黄金色に輝きます。何度見ても、感動します。より目立って雌に見つけてもらいやすくするためにでしょうか？経験的な話ではありますが、水が濁って透明度が低い場所ほど、これらの婚姻色はより強く出ているような気がします。残念なことに、これらの生息状況は、上記のクリーク網でも最近悪化する傾向です。カワバタモロコの場合、福岡県内の生息地は片手で数えることができる程度となつてしまい、...。素掘りの止水的な水路が大好きなこの魚は、県内の農業用水路の改変の影響



ハカタスジシマドジョウ雄の点列模様



ハカタスジシマドジョウ雄の縞模様

で、その生息地を大幅に減らしました。久留米市の天然記念物指定を受けるヒナモロコは、さらに危機的な状況に、...。私の知る限り、善意ある市民団体の手厚い管理なしには、野外での生息は極めて難しい状況にまで落ち込んでいます。他の魚たちに目を向けても同様で、水田地帯の圃場整備と農業の近代化、非灌漑期の水路の水枯れなどによって、いずれの魚種も著しい減少を続けています。それでも、他の地域と見比べたとき、この地域の掘割ネットワークは、日本の希少魚類の保全上、重要な役割を果たしております！ぜひとも、この日本で1、2を争うような貴重な魚類の多様性をこれからも維持し続けたいものです。これ以上の改変は何としても食い止めたい！

続いて、河川内のワンドやたまりなどの緩流域の話に移りますが、スジシマドジョウ類やタナゴ類の生息場、そして産卵場として機能しています。そのため、河川の堤防内にワンドやたまりを伴う水際をいかにして維持・創出するかが、これらの魚類の多様性保全に大きく関わります。また、最近の河川では、川の床が低下して、水域と陸域の高さに大きな段差ができる傾向にあります。我々は二極化と呼んでおりますが、そういった二極化が進んだ河川区間では、出水の時に河川敷上に水が流れないため、ワンドやたまりが簡単には形成されません。出水の時に河川敷上を水が流れ、その時の水の流れが河川敷を削ることで、ワンドやたまりが形成されます。ですので、二極化が進行してしまった河川区間では、出水のときに河川敷上を水が流れる程度まで、河川敷の切り下げを行う必要があります。その際、そこにワンドやたまりを掘っておくと、生息場の再生が早まることでしょう。実は、こういっ

た河川改修の事例は、都市河川である多々良川水系の下流域などで実際に行われ、効果を挙げています。

さて、今度はハカタスジシマドジョウの雄の模様を見てみましょう。なんと、この魚、通常は点列模様なのですが、産卵期だけ、スジシマ模様に変化するのです。産卵期特有の雄だけに見られる現象で、これも雌と恋に落ちるために???このスジシマ模様への変化はオングスジシマドジョウやアリアケスジシマドジョウにも見られます。

最後に、今日紹介した婚姻色に特徴を持つ魚たちは、観賞魚としても大人気で、インターネットを通じて業者が販売したりしているようです。でも、実はそういった業者は野外で採集しておりますので、その過度の漁獲圧も最近問題視されております。みなさん、家庭での観賞魚の飼育については、野生生物へ愛を注ぎながら、節度を持って楽しんでいただければ幸いです。でないと、希少種保護条例などで採集を禁止するような形で、他県のように厳しい監視下に置かれてしまうかもしれません。それでは、魚を見る機会、魚に触れる機会が減り、身近な希少な魚たちを忘れ去ってしまうかもしれません。なお、今回の美しい魚たちの写真に関しましては、福岡県保健環境研究所の中島 淳さんにご提供いただきました。

鬼倉 徳雄 おに くら のり お

- 九州大学大学院農学研究院・助教
- 日本水環境学会九州支部・評議委員
- 日本魚類学会自然保護委員会・希少魚類部会委員

主な著書/
 ■有明海の生きものたち 干潟・河口域の生物多様性(佐藤正典編)
 ■干潟の海に生きる魚たち 有明海の豊かさ(日本魚類学会自然保護委員会編)

水辺の花図鑑

クルマバナ(車花)

シソ科 トウバナ属

- 開花時期: 7~9月
- 撮影地: 糟屋郡久山町猪野川流域
- 撮影者: 城戸

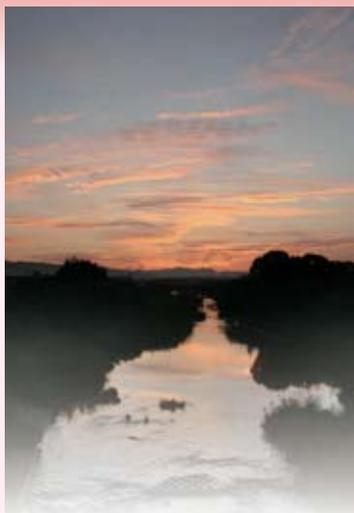
名前の由来は、花が車輪状につくことからきている。北海道から九州まで広く分布していて、山地の草地などに生える。茎先や上部の葉のつけ根に淡い紅紫色の唇形の花を数段輪生する。花の長さは8~10ミリくらいである。(みんなの花図鑑より)



表紙の説明

「広川」 (久留米市)

荒木町三川橋より上流を臨んで。「秋季の夜明け」これより下流に向かうと、日本三大火祭りの一つ「鬼夜」が行われる大善寺玉垂宮がある。田園地帯を通って最後は筑後川に合流。



協会からのお知らせ

九州地方治水大会

日時: 平成27年11月5日(木) 13:30
場所: 鹿児島市
主催: 鹿児島県、全国治水期成同盟会連合会等

河川事業現地研修

日時: 平成27年11月12日~13日
場所: 大分県 山国川等
主催: 福岡県河川協会

福岡県災害復旧実務講習会

日時: 平成27年12月予定
場所: 福岡県建設技術情報センター
主催: 福岡県県土整備部河川課、福岡県河川協会

編集 後記

通常総会で河川功労者表彰を受けた「山寺川をきれいにする会」の会長さんにホタルの話の伺いました。雨で下流に流されてしまったカワニナの引越しをみんなで手伝うそうです。ホタルの数も記録しておられました。継続的に川に関わっていくには、肩の力を抜いたユーモアと楽しみが大切と感じました。(古賀)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL : 092-633-2826(直通)
FAX : 092-643-3669
企画 セントラル印刷株式会社